

おうちの方へ



6月まで、健康診断が続きます。正しく検査・検診ができるよう、持ち物等の準備のご協力をお願いいたします。

こちらに載せているのは、健康診断で見つかる病気の一部です。視力検査の結果のお知らせでは、早速受診して頂いたご家庭も多かったです。早めの治療が治りも早く、お勧めです。お子様が元気に安全に、学校生活を送れるよう、保健室からもサポートして参ります。お子様の健康のことで、気になることがありましたら、いつでもご連絡ください。

内科検診

アレルギー性皮膚炎



なぜなるのか、まだわかっていませんが、大切なのは、①アレルギーをおこす原因（ダニ、花粉、ハウスダスト、動物の毛、食べもの）などを取りのぞくこと。②皮ふに直接ふれるもの（かみの毛、毛糸の服、シャンプーやせっけん）などに気をつけて、皮ふへの刺激をなくすこと。③適温・適湿に心がけること などです。

かゆくて、かくと、皮ふが傷つけられてますます外の刺激に弱くなるという悪い循環になります。ストレスも悪化の原因になるので、気にしすぎないことも大切です。

内科検診

不整脈

(心室期外収縮)



心臓は4つの部屋に分かれていて、上側が心房、下側が心室です。ふだんはリズムよく動いていますが、その動きが時々速すぎたり遅すぎたり、不規則になるのが不整脈です。不整脈の中でも心室におこる期外収縮は、健康診断でよくみつかります。

睡眠不足、疲労、ストレスなどによって起こることもあって、ほとんどの場合心配いりませんが、中には治療の必要な心臓病が見つかることもあるので、病院で受診してください。

耳鼻科検診

耳垢栓塞



耳あかが耳の穴をふさいだ状態で、病気ではありません。

耳あかには耳に異物が入るのを防ぐ働きがあって、ほうっておいても自然と外に向かって運ばれていきます。ところが、綿棒などを使った耳そうじで、手前にある耳あかを奥へ奥へと押し込んだり、プールやお風呂の水でふやけてしまうと、耳あかが耳の穴をふさいでしまうことがあります。

完全に耳の穴がふさがれてしまうと、聞こえづらくなったり、耳が詰まったような感じがしますが、これは耳あかを取りのぞけばなくなります。

眼科検診

睫毛乱生

・内反症



●睫毛乱生は、まつ毛の並び方がふぞろいなために、白目や黒目に当たってしまう病気です。目を傷つけたり、ゴロゴロしたり、涙が出ます。ひどくなると、視力障害がおこります。治療はふぞろいなまつ毛を抜きます。

●内反症は、まぶたが内側に反っているためにまつ毛が目当たって、睫毛乱生と同じ症状がおこります。自然に治ることもありますが、症状がひどいときには、手術が必要です。

まずは眼科で相談しましょう。



清潔なハンカチ・ティッシュを

かぜ予防や感染症の予防のため、手洗いとうがいの指導をしています。

また、今年から、せいけつしらべを実施しています。「ハンカチ・ティッシュを持ってきているか」と「つめの長さ」を週に1回、点検します。

身のまわりの清潔について、子どもたちの意識を高めていければと思っておりますので、ご家庭でもハンカチ・ティッシュの準備等、ご協力をお願いいたします。